



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月10日

上場会社名 ジャパンクラフトホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7135 URL <https://www.jcraft-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 孝子
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 企画部長 (氏名) 若園 和章 TEL 052-725-8815
定時株主総会開催予定日 2026年9月29日 配当支払開始予定日 2026年9月30日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月25日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	14,041	△0.0	106	61.5	△11	—	431	—
2025年6月期	14,045	△8.8	65	—	4	—	△257	—

(注) 包括利益 2026年6月期 374百万円 (—%) 2025年6月期 △259百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	11.57	10.95	11.4	△0.1	0.8
2025年6月期	△6.91	—	△7.8	0.0	0.5

(参考) 持分法投資損益 2026年6月期 ー百万円 2025年6月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	11,025	3,956	35.7	106.03
2025年6月期	11,555	3,694	31.8	98.99

(参考) 自己資本 2026年6月期 3,934百万円 2025年6月期 3,672百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	△234	△191	34	1,887
2025年6月期	△501	△233	1,131	2,279

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00	112	—	3.1
2026年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00	112	25.9	2.9
2027年6月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00		22.2	

(注) 2026年6月期の配当原資には、資本剰余金が含まれています。詳細は、後述の「資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,452	2.9	682	543.3	585	—	503	16.7	13.50

（注） 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予測の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 — 社 （社名） 、除外 1 社 （社名）株式会社ヴォーグ学園

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期	37,341,680株	2025年6月期	37,341,680株
② 期末自己株式数	2026年6月期	21,014株	2025年6月期	20,948株
③ 期中平均株式数	2026年6月期	37,320,689株	2025年6月期	37,320,733株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2026年6月期期末の配当のうち、資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	3円00銭	3円00銭
配当金総額	112百万円	112百万円

（注）純資産減少割合については現在計算中であり、確定次第開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年7月1日から2026年6月30日まで）におけるわが国経済は、企業の設備投資の拡大や個人消費の改善により緩やかな回復基調が続きました。一方で、物価上昇の継続や米国の関税政策、中東情勢の緊迫化等による景気の下振れリスクが存在し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する手芸業界及び出版業界においても、原材料価格の高騰によるコスト上昇に加え、手芸コーナーの充実を図る100円ショップとの競合激化や趣味の多様化、愛好者の高齢化によるユーザー減少など、経営環境は一層厳しさを増しております。

このような状況のなか、当社は、グループ経営理念「『手づくり』を通して豊かな心を育み幸せを紡ぐ企業グループへ」とその理念に基づいたサステナビリティ方針を掲げ、環境・社会・ガバナンス面での各種課題への継続的な取組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献したいと考えております。このような考えのもと、足元の経営環境を踏まえ、当連結会計年度を初年度とする新中期経営計画（2026年6月期から2028年6月期）を2025年9月に公表いたしました。手芸市場における持続的な成長実現に向け、手芸の裾野拡大、収益性の向上、グループシナジーの深化の3つを骨子に据え、ライトユーザーの取り込み強化や、グループ各社の強みを生かした商品開発による他社との差別化、グループ各社の仕入・マーケティングの機能一元化に向けた取組みを推進しております。

しかしながら、小売事業における反物生地等の粗利率の高い商品の販売不振や、出版・教育事業における会員数の減少等により、年間の事業計画に対しては売上、営業利益ともに未達となりました。一方でグループ各社の取組みの結果、収益構造は着実に改善しており、前期比で売上は若干減少も営業利益は増加いたしました。また、当連結会計年度において投資有価証券売却益及び株式会社ヴォーグ学園（以下、「ヴォーグ学園」という。）の株式譲渡による関係会社株式売却益を特別利益として計上しております。さらに、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額（益）を計上しております。

これらの結果、当連結会計年度における経営成績は売上高140億41百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益1億6百万円（前年同期比61.5%増）、経常損失11百万円（前連結会計年度は4百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純利益は4億31百万円（前連結会計年度は2億57百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

（小売事業）

小売事業では、藤久株式会社（以下、「藤久」という。）が営む「クラフトハートトーカー」ブランドを中心とした店舗とECにおいて様々な施策に取り組んでまいりました。

若年層を中心とした編み物ブームの継続を背景として、編み物関連商品は好調に推移しました。トーカーグループ店舗において編み物初心者向けの1DAYワークショップを開催したほか、国内外の毛糸や編み物関連商品を取り扱うポップアップショップ「旅する毛糸店」を各地で開催し、2025年12月には、お客様が各自編み物を持ち寄って楽しむ編み会イベント「編みバ」を開催する等、編み物の顧客層拡大とイベント強化に取り組みました。

これまで藤久における売上の柱となっていた入学入園準備に伴う手芸需要は、近年の少子化や既製品の増加により減少傾向にありますが、需要の変化に対応し、入園入学準備関連以外の施策も並行して実施することで売上確保に努めました。引き続き需要の変化に対応した柔軟な取組みを強化してまいります。

また、手芸の裾野拡大に向け、IPコンテンツを活用した商品開発に取り組むとともに、店舗での初心者向けワークショップや講習会の体験レッスン強化に取組み、モノ消費・コト消費両面の充実を図ることで、新規顧客層開拓を推進いたしました。

収益性の向上に向けては、市場調査を徹底し商品・サービスの価格適正化を順次進めるとともに、粗利確保に向けて割引制度の見直しを図り、収益構造の改善に取り組みましたが、利益率の高い商品の販売不振などにより年間の利益率改善においては課題を残す形となりました。

店舗網については、東北地区で1店舗、関東地区で1店舗、近畿地区で2店舗、中国地区で1店舗、沖縄地区で1店舗の閉鎖を実施した一方、東北地区で1店舗、中部地区で1店舗、沖縄地区で1店舗新規出店し、当連結会計年度末の店舗数は211店舗となりました。

これらの結果、小売事業の売上高は109億88百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は3億50百万円（前年同期比10.0%増）となりました。

（出版・教育事業）

出版・教育事業では、株式会社日本ヴォーグ社（以下、「日本ヴォーグ社」という。）を中心に様々な施策に取り組んでまいりました。

日本ヴォーグ社では、編み物ブーム継続を背景に、編み物関連書籍や基礎本シリーズの販売が好調に推移いたしました。2025年10月31日及び11月1日に開催された糸のマーケットイベント「イトマ!」は、今回で開催7回目となり、多くのお客様にご来場いただき売上は過去最高となりました。

2025年10月には自社ECサイトである「手づくりタウン」をリニューアルし、「手づくりと生きる、を新しく」をコンセプトに、商品販売だけでなく、情報発信や学びのコンテンツを融合したメディア型ECサイトへの転換を進めました。さらに、2025年12月より有料会員制度「手づくりタウンクラブ」を開始し、顧客との継続的な関係構築に取り組んでおりますが、効果発現までに時間を要し、売上への貢献には至りませんでした。

また、構造改革に向けた専担部署を立ち上げ、事業ポートフォリオの見直しと収益改善施策を推進しました。不採算事業撤退やコスト削減施策に取り組んだほか、在庫活用政策として、2026年1月から3月にかけてECサイト及び日本ヴォーグ社本社にて「手芸祭」を開催し、在庫現金化と顧客接点創出に寄与しました。会員数の減少等により前年同期比で減収となりましたが、構造改革により利益面は改善いたしました。

ヴォーグ学園では、これまでに蓄積された手芸に関する情報やテキスト作成のノウハウを活かし、手芸の知識を問う「手芸検定」を新たな取組みとして開始いたしました。なお、2026年5月1日付でヴォーグ学園の全株式を株式会社ハルメクに譲渡しておりますが、連結除外日までの実績が含まれております。

これらの結果、出版・教育事業の売上高は31億24百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は83百万円（前年同期比78.6%増）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億29百万円減少し、110億25百万円となりました。流動資産は3億97百万円減少し、72億27百万円となりました。流動資産の減少は、現金及び預金が4億16百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1億31百万円減少し、37億98百万円となりました。固定資産の減少は、投資有価証券が1億44百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ7億91百万円減少し、70億68百万円となりました。流動負債は4億67百万円減少し、51億72百万円となりました。流動負債の減少は、短期借入金が増加したものの、電子記録債務が2億78百万円、契約負債が3億15百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は3億24百万円減少し、18億96百万円となりました。固定負債の減少は、社債が40百万円、長期借入金が71百万円、繰延税金負債が96百万円、資産除去債務が47百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億62百万円増加し、39億56百万円となりました。純資産の増加は、配当金の支払い1億11百万円があった一方、親会社株主に帰属する当期純利益4億31百万円を計上したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少し、18億87百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、2億34百万円（前年同期は使用した資金5億1百万円）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3億37百万円があった一方、投資有価証券売却益2億17百万円、関係会社株式売却益1億32百万円、仕入債務の減少2億18百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億91百万円（前年同期は使用した資金2億33百万円）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億80百万円があった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出3億70百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、34百万円（前年同期は得られた資金11億31百万円）となりました。これは主に、短期借入金の増加2億50百万円、長期借入れによる収入4億50百万円があった一方、長期借入金の返済による支出4億63百万円、配当金の支払額1億11百万円等によるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しについては、趣味の多様化や愛好者の高齢化による手芸人口の減少や他業種との競合など引き続き厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような経営環境の中、当社グループは長期ビジョン2030である「『手づくり』を軸に新ビジネス領域を拡大し、お客さまと従業員の自己実現を叶えます」の実現に向け、当連結会計年度を初年度とする中期経営計画の骨子として手芸の裾野拡大、収益性の向上、グループシナジーの深化の3つを掲げております。この中期経営計画のもと、長期ビジョン2030実現に向けた持続的な成長の下地作りのため、各施策を着実に推進してまいります。

2027年6月期の業績の見通しは、売上高144億52百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益6億82百万円、経常利益5億85百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務の多くは日本国内に限定されており、また、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の採用については、今後の外国人株主の推移及び国内他社の採用動向等を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

（1）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,304,539	1,887,762
受取手形	25,540	28,836
売掛金	905,347	777,587
営業未収入金	221,340	213,841
商品及び製品	3,892,480	3,901,272
仕掛品	14,014	12,892
貯蔵品	3,594	3,449
その他	259,272	402,295
貸倒引当金	△1,303	△428
流動資産合計	7,624,826	7,227,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,026,507	1,962,119
減価償却累計額	△1,259,259	△1,238,725
建物及び構築物（純額）	767,247	723,394
車両運搬具	5,091	5,091
減価償却累計額	△5,091	△5,091
車両運搬具（純額）	0	0
器具及び備品	340,151	307,157
減価償却累計額	△307,763	△273,480
器具及び備品（純額）	32,388	33,676
土地	2,186,619	2,186,619
リース資産	11,140	2,857
減価償却累計額	△9,732	△122
リース資産（純額）	1,408	2,734
有形固定資産合計	2,987,663	2,946,425
無形固定資産		
その他	42,012	46,990
無形固定資産合計	42,012	46,990
投資その他の資産		
投資有価証券	170,164	25,308
繰延税金資産	—	87,525
差入保証金	721,098	667,989
その他	9,253	23,986
投資その他の資産合計	900,516	804,810
固定資産合計	3,930,193	3,798,225
資産合計	11,555,019	11,025,735

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	462,231	522,192
電子記録債務	484,499	206,317
短期借入金	2,480,000	2,700,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	394,719	334,128
未払金	444,057	408,371
未払法人税等	100,922	78,080
契約負債	620,345	304,818
賞与引当金	23,517	21,493
株主優待引当金	97,171	109,782
店舗閉鎖損失引当金	8,979	1,638
資産除去債務	24,783	2,488
その他	458,734	442,899
流動負債合計	5,639,960	5,172,210
固定負債		
社債	40,000	—
長期借入金	579,573	507,842
リース債務	1,408	2,734
繰延税金負債	543,450	446,965
退職給付に係る負債	393,940	355,333
資産除去債務	544,991	497,807
その他	117,303	85,852
固定負債合計	2,220,667	1,896,536
負債合計	7,860,627	7,068,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	355,761	194,406
利益剰余金	3,166,716	3,648,092
自己株式	△7,747	△7,762
株主資本合計	3,614,730	3,934,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57,420	12
その他の包括利益累計額合計	57,420	12
新株予約権	22,240	22,240
純資産合計	3,694,391	3,956,989
負債純資産合計	11,555,019	11,025,735

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
売上高	14,045,675	14,041,061
売上原価	5,978,595	6,119,004
売上総利益	8,067,079	7,922,056
販売費及び一般管理費	8,001,416	7,815,986
営業利益	65,663	106,069
営業外収益		
受取利息	1,819	3,920
受取配当金	5,357	2,846
受取保険金	1,138	274
助成金収入	—	3,233
その他	6,426	5,654
営業外収益合計	14,742	15,929
営業外費用		
支払利息	63,937	82,271
シンジケートローン手数料	—	48,870
株式交付費	6,225	—
その他	5,550	2,461
営業外費用合計	75,713	133,602
経常利益又は経常損失（△）	4,692	△11,603
特別利益		
投資有価証券売却益	—	217,501
関係会社株式売却益	—	132,751
店舗閉鎖損失引当金戻入額	17,491	—
その他	575	—
特別利益合計	18,066	350,252
特別損失		
固定資産除却損	817	0
減損損失	151,392	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	1,272
特別損失合計	152,210	1,272
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	△129,451	337,376
法人税、住民税及び事業税	116,604	82,934
法人税等還付税額	—	△22,724
法人税等調整額	11,926	△154,816
法人税等合計	128,531	△94,605
当期純利益又は当期純損失（△）	△257,983	431,982
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△257,983	431,982

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△257,983	431,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,102	△57,408
その他の包括利益合計	△1,102	△57,408
包括利益	△259,085	374,574
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	△259,085	374,574
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,332,695	1,483,325	△7,747	2,908,274
当期変動額					
新株の発行	482,220	482,220			964,440
減資	△482,220	482,220			—
欠損填補		△1,941,374	1,941,374		—
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）			△257,983		△257,983
自己株式の取得				△0	△0
新株予約権の発行					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△976,934	1,683,391	△0	706,456
当期末残高	100,000	355,761	3,166,716	△7,747	3,614,730

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	58,522	58,522	—	2,966,796
当期変動額				
新株の発行				964,440
減資				—
欠損填補				—
親会社株主に帰属する 当期純損失（△）				△257,983
自己株式の取得				△0
新株予約権の発行			22,240	22,240
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△1,102	△1,102	—	△1,102
当期変動額合計	△1,102	△1,102	22,240	727,595
当期末残高	57,420	57,420	22,240	3,694,391

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	355,761	3,166,716	△7,747	3,614,730
当期変動額					
欠損填補		△49,392	49,392		—
剰余金の配当		△111,962			△111,962
親会社株主に帰属する 当期純利益			431,982		431,982
自己株式の取得				△14	△14
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△161,354	481,375	△14	320,005
当期末残高	100,000	194,406	3,648,092	△7,762	3,934,736

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	57,420	57,420	22,240	3,694,391
当期変動額				
欠損填補				—
剰余金の配当				△111,962
親会社株主に帰属する 当期純利益				431,982
自己株式の取得				△14
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△57,408	△57,408	—	△57,408
当期変動額合計	△57,408	△57,408	—	262,597
当期末残高	12	12	22,240	3,956,989

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	△129,451	337,376
減価償却費	75,680	84,193
減損損失	151,392	—
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△638	△134
賞与引当金の増減額（△は減少）	△2,181	4,240
株主優待引当金の増減額（△は減少）	25,790	12,610
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	9,223	△6,645
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△17,491	1,272
受取利息及び受取配当金	△7,177	△6,766
支払利息	63,937	82,271
シンジケートローン手数料	—	48,870
株式交付費	6,225	—
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△217,501
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△132,751
売上債権の増減額（△は増加）	△54,010	△425
棚卸資産の増減額（△は増加）	△53,644	△42,132
営業未収入金の増減額（△は増加）	34,919	7,499
未収消費税等の増減額（△は増加）	46,039	△12,712
差入保証金の増減額（△は増加）	49,566	16,639
仕入債務の増減額（△は減少）	△203,040	△218,220
未払金の増減額（△は減少）	△164,931	22,095
未払消費税等の増減額（△は減少）	36,824	7,592
契約負債の増減額（△は減少）	△133,183	△21,231
その他	70,990	5,508
小計	△195,157	△28,349
利息及び配当金の受取額	7,159	5,394
利息の支払額	△63,937	△82,271
コミットメントフィーの支払額	△1,751	△1,289
店舗閉鎖損失の支払額	△100,883	△10,473
法人税等の支払額	△147,974	△118,854
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	650	846
営業活動によるキャッシュ・フロー	△501,893	△234,997
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△102,098	△53,550
無形固定資産の取得による支出	△78,160	△24,941
投資有価証券の取得による支出	△705	—
投資有価証券の売却による収入	—	280,671
資産除去債務の履行による支出	△28,368	△22,716
長期前払費用の取得による支出	△23,698	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△370,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233,032	△191,179

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）	当連結会計年度 （自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	250,000	250,000
長期借入れによる収入	589,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△600,589	△463,222
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
株式の発行による収入	916,034	—
新株予約権の発行による収入	22,240	—
自己株式の取得による支出	△0	△14
リース債務の返済による支出	△4,335	△1,531
シンジケートローン手数料の支払額	—	△48,870
配当金の支払額	△557	△111,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,131,792	34,399
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	396,866	△391,776
現金及び現金同等物の期首残高	1,882,672	2,279,539
現金及び現金同等物の期末残高	2,279,539	1,887,762

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業領域を基礎としたセグメントから構成されており、小売事業と出版・教育事業の２つを報告セグメントとしております。

小売事業は、手芸用品の販売を中心とした店舗を展開しており、主な店舗としては「クラフトハートトーカイ」を展開しております。出版・教育事業は、書籍の販売及び手芸関連の教室「ヴォーグ学園」の運営を中心に行っております。

なお、2026年５月１日付でヴォーグ学園の全株式を譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2024年７月１日 至2025年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) １、３	連結損益計算書 計上額 (注) ２
	小売事業	出版・教育事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,900,535	3,145,140	14,045,675	—	14,045,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,264	67,458	68,722	△68,722	—
計	10,901,799	3,212,598	14,114,397	△68,722	14,045,675
セグメント利益	318,501	46,550	365,051	△299,388	65,663
資産	5,871,808	5,824,990	11,696,798	△141,778	11,555,019
その他の項目					
減価償却費	6,379	69,301	75,680	—	75,680
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	167,270	42,857	210,127	—	210,127

（注）１ セグメント利益の調整額△299,388千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△297,987千円及び未実現利益の調整額△1,400千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

２ セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３ セグメント資産の調整額△141,778千円には、セグメント間消去額△3,533,109千円と、各セグメントに配分していない全社資産3,391,330千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社の現金及び預金、貸付金等であります。

当連結会計年度（自2025年7月1日 至2026年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1、3	連結損益計算書 計上額 (注) 2
	小売事業	出版・教育事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,985,186	3,055,874	14,041,061	—	14,041,061
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,914	69,049	71,964	△71,964	—
計	10,988,101	3,124,924	14,113,025	△71,964	14,041,061
セグメント利益	350,499	83,156	433,655	△327,586	106,069
資産	6,319,006	5,377,518	11,696,525	△670,789	11,025,735
その他の項目					
減価償却費	16,444	67,749	84,193	—	84,193
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	68,960	19,981	88,941	—	88,941

- (注) 1 セグメント利益の調整額△327,586千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,052千円及び未実現利益の調整額△534千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 セグメント資産の調整額△670,789千円には、セグメント間消去額△4,098,425千円と、各セグメントに配分していない全社資産3,427,635千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社である当社の現金及び預金、貸付金等であります。
- 4 「出版・教育事業」に分類しておりましたヴォーグ学園については、全株式を譲渡したため、売上高、セグメント利益及びその他の項目については、連結除外日までの実績を含めておりますが、資産については除外しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2024年7月1日 至2025年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自2025年7月1日 至2026年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2024年7月1日 至2025年6月30日）

（単位：千円）

	小売事業	出版・教育事業	全社・消去	合計
減損損失	145,334	6,058	—	151,392

当連結会計年度（自2025年7月1日 至2026年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2024年7月1日 至2025年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2025年7月1日 至2026年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2024年7月1日 至2025年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2025年7月1日 至2026年6月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	98円99銭	106円03銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△6円91銭	11円57銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	10円95銭

（注） 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失(△) (千円)	△257,983	431,982
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△257,983	431,982
普通株式の期中平均株式数 (株)	37,320,733	37,320,689
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調 整額 (千円)	—	—
普通株式増加数 (株)	—	2,143,743
（うち新株予約権） (株)	—	2,143,743
希薄化効果を有しないため、潜在株 式調整後1株当たり当期純利益の算 定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。